

カリキュラムマップ

区分	領域	授業科目	配当年次	単位数		1時間単位数	豊かな感性と倫理観に基づく看護を實踐できる	看護の対象を総合的に理解し、科学的な知識・技術に基づいた看護を實踐できる	保健・医療・福祉チームの一員として、看護の役割と責任をもって協働できる	主体的学修能力を身につけ、看護の発展や質の向上に貢献できる	国際的視野を持ち看護を實踐できる	
				必修	選択							
基礎科目	多様な価値観と文化	哲学	1前	1	15	◎						
		文学	1前	1	15	◎						
		心理学	1後	1	15	◎		○				
		文化人類学	2後	1	15	○					◎	
		ジェンダーとセクシュアリティ	2後	1	15	◎		○				
		人間の価値と倫理	2前	1	15	◎		○				
		生命倫理学	3前	1	15	◎		○				
		医療社会学	3前	1	15			◎				
		家族社会学	3前	1	15			◎				
		地球環境論	1後	1	15			○			◎	
	人間と環境	化学	1前	1	15			◎				
		生物学	1前	1	15			◎				
		人間工学	2前	1	15			◎				
		日本国憲法と人権	1前	1	15	◎						
	人間と社会生活	人間と歴史	2後	1	15	◎		○				
		家政学	1前	1	15			◎				
		教育学	2前	1	15			○		◎		
		国際社会の動向	3前	1	15			○			◎	
		スポーツと健康	1後	2	22.5				◎			
	コミュニケーションと情報	英語 I	1前	1	30						◎	
		英語 II	1後	1	30						◎	
		英語 III	2前	1	30						◎	
		医療英語	3前	1	30				○		◎	
		英語文献講読	4前	1	30						◎	
		中国語	2後	1	30						◎	
		韓国語	2後	1	30						◎	
		ドイツ語	2後	1	30						◎	
		手話	2後	1	30	◎		○				
		医療・看護と情報	1前	1	15			○		◎		
		情報リテラシー演習	1後	1	30			○		◎		
		統計学	1後	2	15					◎		
		文章表現法	1前	1	30					◎		
		学び方を学ぶ	クリティカルシンキング	1前	1	30					◎	
		基礎ゼミナール	1通	1	30					○	◎	
	専門基礎科目	健康な生活を支える社会と医療	法と看護	2後	1	15		○		◎		
社会保障論			2前	1	15			○	◎			
公衆衛生学			1後	1	15			◎	○			
社会福祉論			4前	1	15			○	◎			
疫学・保健統計			2前	1	30			◎				
ヘルスプロモーション論			2前	1	15			◎		○		
保健医療福祉行政論			2後	2	15			○	◎			
学校保健と産業保健			3前	1	15			◎	○			
チーム医療論			3前	1	15				◎			
人間発達論			1後	2	15			◎				
生命と発達と健康		臨床心理学	2前	1	15			◎				
		生化学	1後	1	15			◎				
		遺伝学	2前	1	15			◎				
		臨床栄養学	1後	1	15			◎				
		人体の構造 I	1前	2	15			◎				
		人体の構造 II	1前	2	15			◎				
		人体の機能 I	1後	2	15			◎				
		人体の機能 II	1後	2	15			◎				
		微生物学	1前	2	15			◎				
		病理学	1前	2	15			◎				
健康障害と治療		病態治療学 I	2前	2	15			◎				
		病態治療学 II	2前	2	15			◎				
		病態治療学 III	2後	2	15			◎				
		薬理学	2前	2	15			◎				
		生体情報と看護	2後	1	15			◎				
		放射線と看護	2前	1	15			◎				
		東洋医学と経絡	2後	1	15			◎				
		音楽療法	2後	1	15			○	◎			
		看護学原論	1通	2	15			◎		○		
		看護理論	1後	1	15			◎				
看護の基盤と実践		看護人間関係論	1前	1	30			◎				
		看護方法論演習 I (日常生活支援方法)	1前	2	30			◎				
		看護方法論演習 II (診断-治療支援方法)	1後	2	30			◎				
		看護方法論演習 III (看護過程展開)	1後	1	30			◎				
		基礎看護学実習 I	1後	1	45			◎		○		
	基礎看護学実習 II	2後	2	45			○	◎		○		
	実践看護学概論 I	2前	2	15			◎		○			
	実践看護学概論 II	2前	2	15			◎		○			
	家族看護論	2前	1	15			◎					
	アセスメント論 I (ウェルネスフィジカル・成人)	1後	1	30			◎					
	アセスメント論 II (小児・母性・精神・老年・在宅)	2前	1	30			◎					
	アセスメント論 III (地区アセスメント)	4前	1	45			◎					
	健康看護支援論 I (公衆衛生看護)	2後	1	15			◎					
	健康看護支援論 II (周産期看護)	2前	1	30			◎					
	健康看護支援論 III (成人看護)	2前	1	15			◎					
	健康看護支援論 IV (高齢者看護)	2前	1	15			◎					
	健康障害看護援助論 I (クリティカルケア)	2後	1	30			◎					
	健康障害看護援助論 II (周手術期看護)	2後	1	30			◎					
	健康障害看護援助論 III (慢性期看護1)	2後	1	30			◎					
	健康障害看護援助論 IV (慢性期看護2)	2後	1	30			◎					
	健康障害看護援助論 V (回復期看護)	2後	1	30			◎					
	健康障害看護援助論 VI (終末期看護)	3前	1	15			○	◎				
	健康障害看護援助論 VII (がん看護)	2後	1	15			○	◎				
	健康障害看護援助論 VIII (在宅看護)	3前	1	30			◎					
	健康障害看護援助論 IX (精神看護)	3前	1	30			◎					
健康看護支援論演習 (公衆衛生看護活動)	2後	2	30			◎						
健康看護支援・健康障害看護援助論演習 I (看護過程)	3前	2	30			◎						
健康看護支援・健康障害看護援助論演習 II (看護技術)	3前	2	30			◎						
看護実践科目	ふれあい実習	1前	1	45			◎		○			
	健康看護支援論実習 (公衆衛生)	4前	3	45			○	◎		○		
	健康看護支援・健康障害看護援助論実習 I (周産期)	3後	2	45			○	◎		○		
	健康看護支援・健康障害看護援助論実習 II (小児期)	3後	2	45			○	◎		○		
	健康看護支援・健康障害看護援助論実習 III (成人・老年急性期)	3後	3	45			○	◎		○		
	健康看護支援・健康障害看護援助論実習 IV (成人・老年慢性期)	3後	3	45			○	◎		○		
	健康看護支援・健康障害看護援助論実習 V (成人・老年回復期)	3後	3	45			○	◎		○		
	健康看護支援・健康障害看護援助論実習 VI (在宅)	3後	2	45			○	◎		○		
	健康看護支援・健康障害看護援助論実習 VII (精神)	3後	2	45			○	◎		○		
	看護マネジメント論 I (医療安全)	3前	1	15				○	◎			
看護管理 / 看護教育	看護マネジメント論 II (看護管理)	4前	1	15				○	◎			
	看護マネジメント論 III (公衆衛生看護管理)	4前	1	15				○	◎			
	看護倫理	4後	1	15			◎					
	看護専門職論	4後	1	15			◎			◎		
	総合実習	4前	2	45			○	◎		◎		
看護の統合と発展	看護研究 I	3前	1	15			○		◎			
	看護研究 II	4通	2	30			○		◎			
	災害看護学	3前	1	15				○	◎			
	国際看護学	4後	1	15				○		◎		
	現代社会と看護	4後	1	15			◎					

*◎: 最も重点を置く DP ○: 重点を置く DP